

東日本支社・西日本支社の発足式を挙行了しました。

日本下水道事業団（JS）では、令和8年4月に組織再編を実施し、東日本支社及び西日本支社が発足しました。両支社とも発足式を執り行い、幹部職員はじめ多くの職員の立ち会いのもと、両支社長が挨拶の中で取り組むべき目標を示し、新たなるスタートに相応しい式となりました。

○東日本支社発足式（令和8年4月1日）

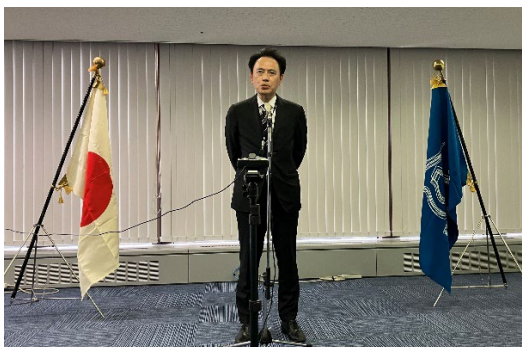
佐々木支社長は、今回の組織再編を「未来に向けた大きなチャレンジ」と位置づけ、下水道を取り巻く環境の変化や自治体が抱える人材不足といった課題に応えるため、事業部・PM部・設計部・北海道事業部・東海事業部がワンチームで連携し、効率的かつ質の高いサービスを継続して提供できる体制の構築を目指すことを表明しました。



佐々木東日本支社長

○西日本支社発足式（令和8年4月2日）

細川支社長は、下水道事業を取り巻く厳しい状況（老朽化に伴う事故の発生、激甚化する自然災害への対応など）を踏まえ、新しい組織が地域に根差した業務の継続と支援拠点となるため、本質的な業務を見出し、DX技術の積極的活用、設計EMRの試行やPMR人材の育成など、業務の効率化・変革化を推進する考えを表明しました。



細川西日本支社長

【参考】 [令和8年4月に組織再編を実施します](#)（R8.3.27 記者発表）

[組織再編の実施に関するご案内（新体制及び連絡先、新組織図）](#)（R8.4.1 新着情報）